

# 関西・中京方面に近い日本海側の新拠点 福井県

## 関西・中京の二大経済圏とのアクセスが抜群

福井の魅力は、関西・中京の二大経済圏への地の利が良いこと。2014年7月に開通した舞鶴若狭自動車道、現在整備が進められている中部縦貫自動車道により、福井県と関西・中京、関東・信越が最短ルートでつながる。

二大経済圏に近い日本海側の港湾として敦賀港の価値も高まる。現在、定期航路は韓国航路週4便に加え、北海道航路週14便、博多航路週6便が運航されている。

北陸新幹線は、2024年春に金沢～敦賀間が開業し、東京と結ばれた。敦賀から大阪までの区間についても、早期の全線開通を国に要請している。

日本海側の地震や津波の発生確率は太平洋側と比較して低いと評価するデータがあり、県は「BCP（事業継続計画）の観点から、地震・津波など自然災害の発生リスクが少ない福井県にぜひ国内拠点を」とアピールしている。

### ■福井県のデータ

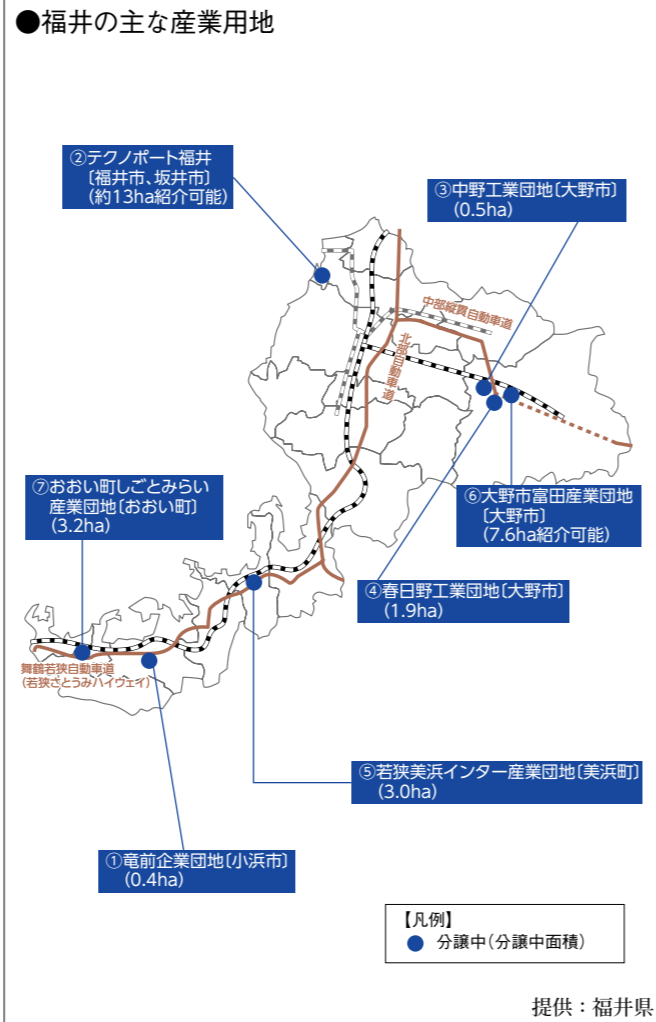
面積：4,191km<sup>2</sup>  
 人口：739,072人（2024年9月1日現在・推計人口）  
 県庁所在地：〒910-8580福井市大手3丁目17番1号  
 TEL 0776-21-1111（代）  
 ホームページURL：http://www.pref.fukui.jp/

## 企業誘致補助金を大幅リニューアル

県では、土地の取得費、工場等の建設経費等を支援する「企業誘致補助金」を2021年度より大幅リニューアルした。投資額の10%～25%の補助に加え、都市圏等と変わらない給与・待遇や社内環境の整備、UIターン雇用を行う企業への上乘せ支援を大幅に拡充するとともに、投資・雇用要件を撤廃した新たな支援メニューを設けている。

加えて、2024年度からは、積極的に賃上げに取り組む成長性の高い県内企業の投資を支援する制度も新設した。

その他、電気料金を8年間にわたって最大で50%程度支援される国の電気料金助成制度（通称「F補助金」）もあり、ランニングコストの面でも魅力的な地域となっている。



## ●福井県の主な優遇制度

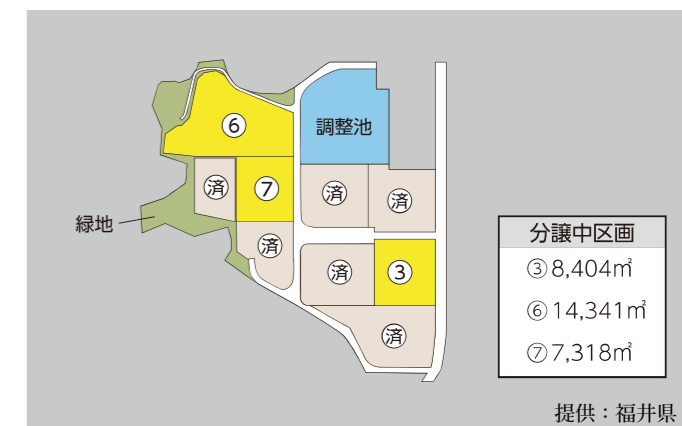
- 県外企業（事業開始から10年以内）が工場等を新增設する場合**  
⇒企業誘致補助金（2021年度より大幅リニューアル）
- 県内企業（事業開始から10年経過）が工場等を新增設する場合**  
⇒県内成長企業生産拠点拡大促進補助金  
(1) 設備投資促進補助金（2024年度より成長投資枠【一般製造業】新設）  
(2) 新規参入促進補助金
- 「本社機能の新設・拡充」に関する支援制度**  
⇒企業誘致補助金（2021年度より大幅リニューアル）  
オフィス誘致補助金（2021年度より新設）
- 電気料金に対する支援制度**  
⇒「F補助金」  
(注)各制度の詳細は福井県成長産業立地課（裏表紙掲載）まで、お問い合わせください  
出典：福井県ホームページ「福井県企業立地ガイド」

## 関西・中京・北陸へのアクセスに優れた産業団地 —「若狭美浜インター産業団地」—

「若狭美浜インター産業団地」は福井県南部の美浜町に位置しており、関西・中京・北陸各地へのアクセスに優れている。舞鶴若狭自動車道の若狭美浜ICから約1分の距離にあり、大阪、神戸へ約130分、名古屋へは約90分で、



また、日本海屈指の規模を誇る敦賀港へは約25分と近く交通面で県内トップクラスの産業団地となっている。美浜町の企業誘致助成金に加え、その他電気料金割引などの支援サポートも充実している。

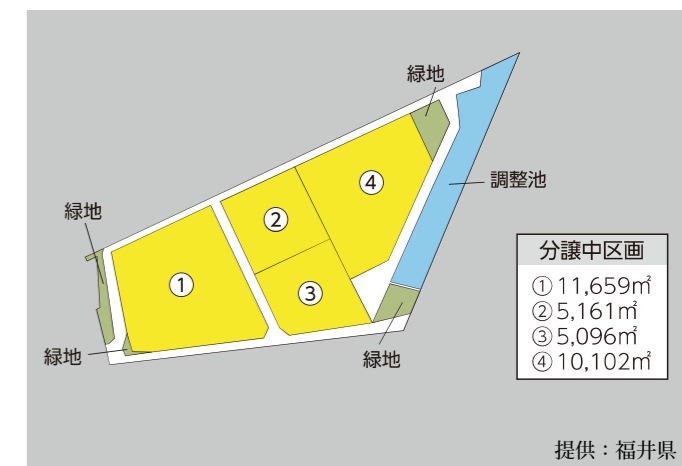


## 2023年4月分譲開始 —「おおい町しごとみらい産業団地」—

2023年3月整備完了、同年4月から分譲を開始した「おおい町しごとみらい産業団地」は福井県南西部のおおい町に位置しており、海・山・川などの自然に恵まれた環境だ。舞鶴若狭自動車道の大飯高浜ICのすぐそばにあり、大



阪・神戸へ約90分、名古屋へは約120分の産業団地となっている。おおい町立地助成金に加え、その他電気料金割引などの支援サポートも充実している。



## 臨海部の大型産業団地 —「テクノポート福井」—

嶺北地域の県営団地「テクノポート福井」（福井市・坂井市）は、福井港を擁する日本海側最大級の産業団地で、総面積1247.2ha、産業用地面積764.3ha。工業用水の供給設備や排水浄化センターを完備し、化学系企業も立地しやすい。また、緑地帯により住宅地から分離された環境で操業が可能。騒音や排水に悩む企業の移転にも適している。現在、県所有地3haに2020年度から分譲を開始した用地を加え、全体で約13haの用地を紹介可能。

